

平成23年度

越前市 社会教育

越前市教育委員会

わたしたちの誓い

越前市民憲章

わたしたちは、恵まれた自然と輝かしい伝統にはぐくまれた越前市民です。

この郷土を愛し、心と力をあわせ、なおいっそうの発展をめざすため、次のことを誓います。

- 1 わたしたちは、日野の峰のように、
高い理想をいだき、豊かな未来をきずきます。
- 1 わたしたちは、日野の流れのように、
うるおいと安らぎのある環境をつくります。
- 1 わたしたちは、桜の木のように、
力強くすこやかに成長します。
- 1 わたしたちは、菊の花のように、
やさしさと思いやりをもって助けあいます。
- 1 わたしたちは、国府の文化と匠の技を生かし、
学びの輪をひろげ、世界にはばたきます。

目 次

1．越前市の紹介

歴史ある新しい都市 “越前”	1
平成23年度一般会計当初予算の概要	2

2．教育方針と方策及び生涯学習課の施策

平成23年度越前市教育方針	3
越前市教育振興ビジョン（概要版）.....	4
平成23年度越前市教育方策（抜粋）	8
生涯学習課の組織	12

3．社会教育の施策と計画

家庭教育推進事業	13
放課後子どもプラン推進事業	15
丹南青少年愛護センターの活動	17
青少年健全育成越前市民会議	19
越前市生涯学習センター事業	20

4．公民館活動

武生東公民館	22
武生西公民館	23
武生南公民館	24
神山公民館	25
吉野公民館	26
国高公民館	27
大虫公民館	28
坂口公民館	29
王子保公民館	30
北日野公民館	31
北新庄公民館	32
味真野公民館	33
白山公民館	34
花筐公民館	35
岡本公民館	36
南中山公民館	37
服間公民館	38

5．教育委員会の施設

社会教育施設	39
社会体育施設	41

6．主要な社会教育関係団体

43

<市の歴史概要>

越前市は、世阿弥の謡曲「花筐」のゆかりの地で、今から1500年前この地から中央に上った男大迹王が26代・継体天皇に即位されたことが「日本書紀」などに記されています。その後、武生盆地には、越前の鄙の都（国府）が置かれ、越前の中心地としての礎となりました。越前市に赴任した国司は、都に戻ると政治の中樞で活躍していることから重要な国であったことがうかがわれます。また、中臣宅守と狭野弟上娘の愛の絶唱が「万葉集」に63首も収められており、灼熱の恋の舞台として知られています。「源氏物語」の作者、紫式部が生涯でただ一度都を離れて暮らした地でもあり、この経験が式部の生涯に大きな影響を与えたといわれています。越前の里・味真野苑や紫式部公園には、このようないにしへの歴史が息づいています。



市域には北陸道や朝倉街道がはしり、交通の要衝であったことから、新田義貞や斯波高経、織田信長など名だたる武将が争奪し合った魅力ある地でした。近世の府中（武生の旧称）は本多氏の城下町として、粟田部は在郷町（地域の物資の集散地で、輸送ルートの拠点）として、商工業や町人文化が栄えました。近代に入ると渡辺洪基や土肥慶蔵など日本や世界に羽ばたいた逸材を輩出し、南越自由党が結成されるなど学問や思想面でも先進地域としての役割を担いました。

このように越前市は、歴史と文化が連綿として築かれてきたまちです。

なお、継体天皇の時代に遡ると伝えられる越前和紙は、手漉き和紙では日本一のシェアを誇っています。約700年もの伝統を継承する越前打刃物とともに、歴史の重さと優れた品質は世界的にも注目を集めています。



<越前市概要>

人口	82,520	人
世帯数	26,845	世帯
面積	230.75	km ²
(平成23年4月1日現在)		



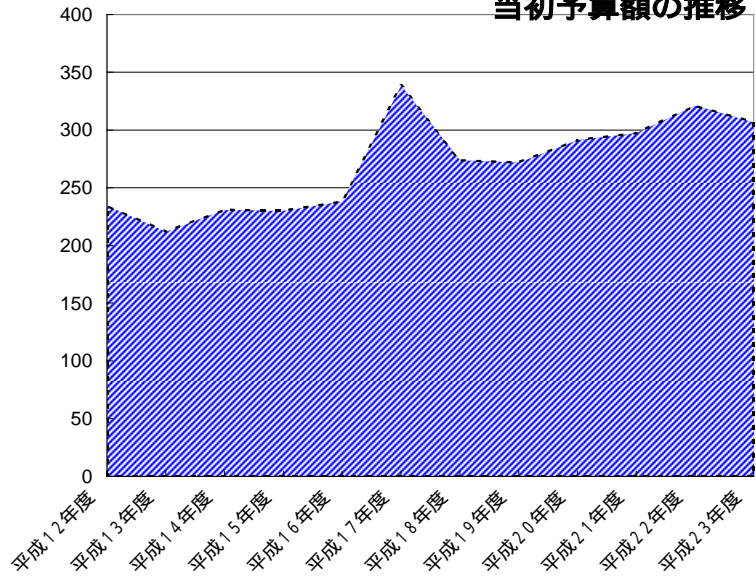
平成23年度 一般会計当初予算の概要

当初予算額の推移

平成12年度	234.4	億円
平成13年度	211.9	"
平成14年度	231.0	"
平成15年度	230.1	"
平成16年度	238.3	"
平成17年度	338.5	"
平成18年度	273.9	"
平成19年度	271.8	"
平成20年度	291.2	"
平成21年度	297.3	"
平成22年度	321.2	"
平成23年度	306.6	"

単位(億円)

当初予算額の推移

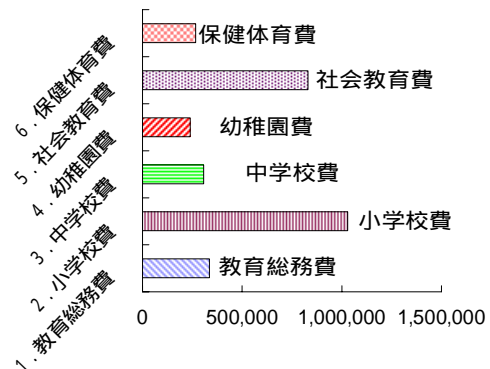


[平成23年度]

教育費 3,010,266千円

構成		
1. 教育総務費	11.2%	336,769千円
2. 小学校費	34.2%	1,029,411 "
3. 中学校費	10.2%	307,532 "
4. 幼稚園費	7.9%	239,125 "
5. 社会教育費	27.6%	830,587 "
6. 保健体育費	8.9%	266,842 "

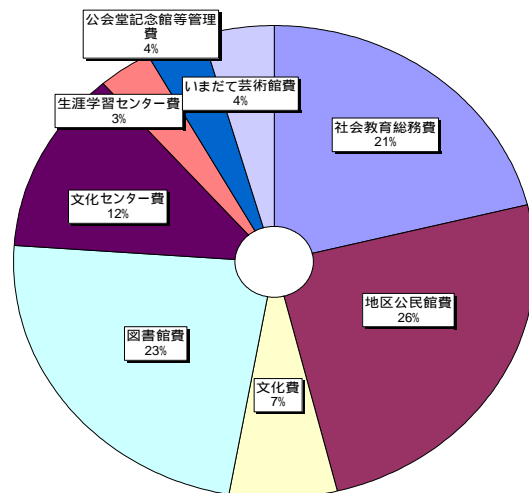
教育費



社会教育費 830,587千円

構成		
1. 社会教育総務費	21.2%	175,871千円
2. 地区公民館費	25.0%	207,724 "
3. 文化費	6.5%	54,271 "
4. 図書館費	23.5%	194,983 "
5. 文化センター費	12.4%	102,870 "
6. 生涯学習センター費	3.3%	27,686 "
7. 公会堂記念館等管理費	3.6%	29,867 "
8. いまだて芸術館費	4.5%	37,315 "

社会教育費



(千円)

越前市教育方針

うるおいと活力のある共生社会を築くため、市民憲章に基づいて、知・徳・体の調和のとれた明日をになう人間の育成に努める。

そのため、生涯学習の理念をふまえて、家庭・学校・地域がそれぞれの役割と責任を認識し、互いに連携・協力を図りながら郷土に根ざした教育を推進する。

いのち

生命を尊び生きる喜びをもって、
いかなる人とも等しく心をわかち合える人を育てる。

ひら つちか

常に学ぶところと未来を拓く創造力を培い、
正しい判断と確かな実践のできる人を育てる。

互いを敬愛し豊かな情操を養い、
ともに働く楽しみと感謝・奉仕の精神にみちた人を育てる。

健全な食生活をもとに自らの健康と安全を保ち、
強くたくましく生きぬく人を育てる。

郷土の伝統、文化、自然、人間に誇りを持ち、
広く社会に貢献できる人を育てる。

越前市教育振興ビジョン 概要版

教育振興ビジョン策定の趣旨及び位置づけ

この「越前市教育振興ビジョン」は、「越前市教育方針」の指針に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるものです。

この、ビジョンは、教育諸事業を推進するために毎年度に定めている「教育方策」の上位計画とするものです。

このビジョンは、今後5年間に取り組むべき教育施策の方向性を示し、総合的・計画的に推進する内容となっています。

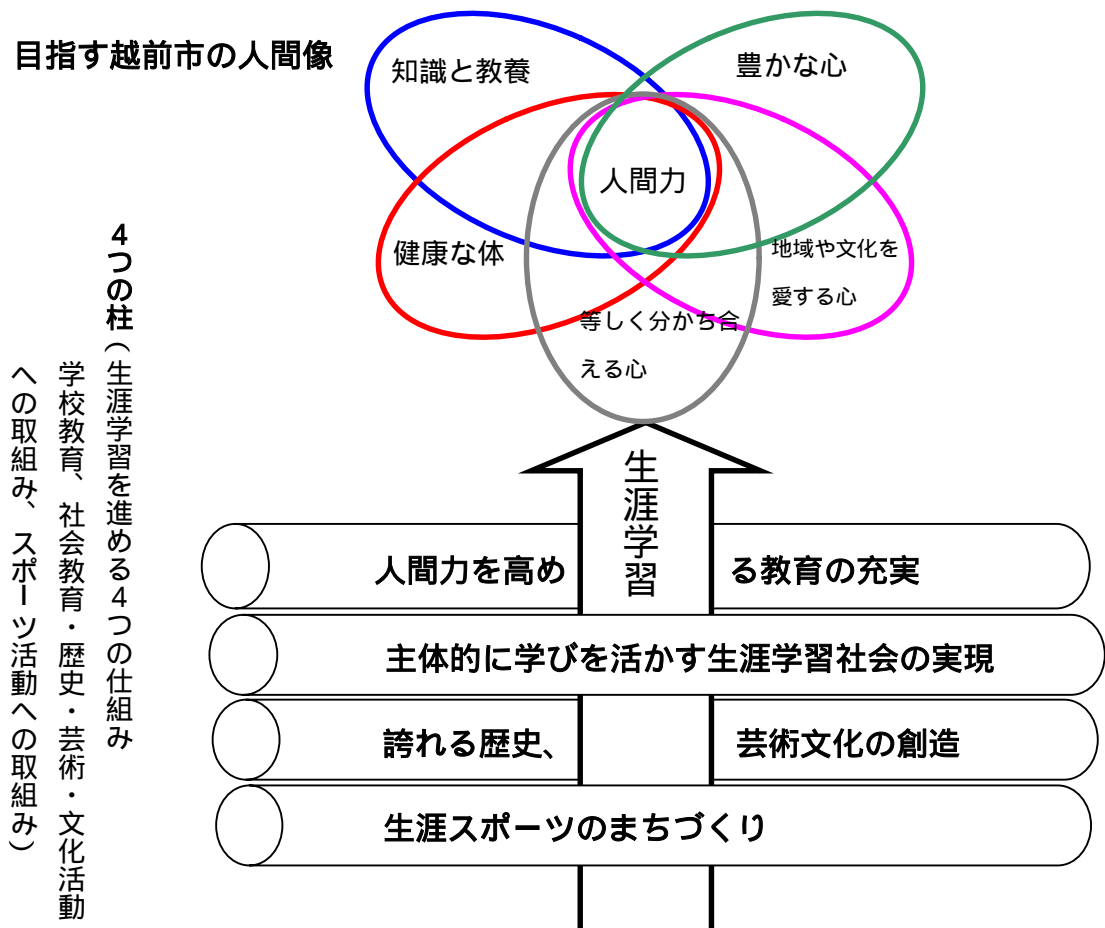
このビジョンは、平成19年に策定された「元気な自立都市 越前」を目指す「越前市総合計画」の理念、その基本政策である「元気なひとづくり」に基づき、たくましく生きる力を養う教育を実現し、心豊かで元気な人に支えられたまちを目指すものです。

このビジョンは、計画期間を平成22年度から平成26年度の5年間とします。

4つの仕組みで教育を進めます。

人が生涯を通じて学習する過程を生涯学習とし、学校教育や社会教育をはじめとした、就学前教育、家庭教育、青少年の健全育成への取組、歴史、芸術・文化活動への取組、スポーツ活動への取組は、生涯学習を進めるためのシステムとして位置づけられます。

ここでは、生涯学習の理念をふまえて、家庭・学校・地域がそれぞれの役割と責任を認識し、互いに連携・協力を図りながら郷土に根ざした教育を推進するための仕組みづくりとし、4つの柱で、諸施策を推進します。



3 青少年の健全育成

価値観の多様化や情報化の進展など青少年を取り巻く社会環境の変化に伴い、犯罪の低年齢化や不登校、ニートなど社会問題として捉えるべき多くの課題が生じています。

このような中、社会全体で青少年を支える仕組みや態勢づくりが急務となっており、家庭、学校、地域、関係機関との連携により、青少年を健やかに育むことが必要となっています。

次代を担う青少年の健全育成

家庭が青少年の自立に果たす役割は大きく、基本的な生活習慣や道徳教育の習得など、日常生活を通して学ぶことのできる最も基礎的で大切な場所でもあります。

また、青少年が社会的自立に向けて、その意識を高めるためには、積極的に社会とのかかわりを持つことが重要です。

学校は、地域との連携を図るなか、余裕教室等の地域開放、社会貢献活動への参加、地域の人材を教育の中で活かすなどの取組みを行います。

青少年が自立した成人となるには、地域の人たちが積極的にかかわることが重要です。

青少年が日常生活のなかで、心豊かに地域とのかかわりを保つためには、地域の伝統文化の伝承、自由な外遊び、こころもからだも安らげる場所の提供や地域の安全確保など、地域の環境づくりに努めます。



登下校時の児童見守り活動

実現するための事業

- ア 市子ども会育成連絡協議会の活動支援
- イ 児童の合同宿泊による通学
- ウ ジュニアリーダーの養成
- エ 中高生、青年の社会貢献活動の推進
- オ 青少年健全育成越前市民会議との連携
- カ 青少年問題協議会の開催
- キ 丹南青少年愛護センターを中心とした非行防止活動

1 生涯学習の充実と環境整備

教育水準の向上、余暇時間の増大、ライフスタイルや価値観の多様化など、社会の変化に伴う市民の自己実現や生きがい作りの要求が高まる中、生涯学習の場を一層充実させることが課題となっています。

さらに、生涯学習は、単に楽しくかつ多様に学ぶことのみならず、学んだ成果を地域社会の中で活かすことも重要な視点です。生涯学習の成果を活かして、「自立と協働」を理念とし、地域自治の推進をはじめ、地域社会の活性化を図ることが求められています。

社会ニーズ及び地域の課題に対応した生涯学習

誰でも足を運びやすく、参加しやすい、人と人を結ぶ生涯学習センターや地区公民館を目指すため、新しい時代を切り拓く人づくりや地域コミュニティづくりを推進します。

また、今日的な生活課題や地域課題の解決に向け、学習の成果をまちづくりや社会参加活動につなげます。

生涯学習センターは、各種養成講座など市全体の講座教室を、地区公民館は、その地域の課題解決や地域に根ざした学級講座を開催し、市民が主体的・積極的に取り組む学習機会の設定と提供に努めます。



地域自治を考える公民館とまちづくり研修会

実現するための事業

- ア 地域情報の発信
- イ 地域機関との連携
- ウ 学級・講座開催
- エ 公民館職員の職務内容の明確化

活力ある地域づくりの推進

分権型社会の進展とともに、自治体の役割と責任が拡大し、市民にあっても、自らがまちづくりの担い手となる新しい地域自治の在り方が求められています。

当市では公民館に自治振興会の活動拠点があり、公民館と自治振興会は、共通した役割・機能等を有し活動していますが、より効率的な運用を図る必要があります。

そのため公民館は、自治振興会と連携し、地域住民への均質なサービスを提供するため、資源の有効活用を図り、自治振興会の活動をはじめとした「地区の総合的なまちづくりの拠点施設」へと移行します。

実現するための事業

- ア 地域自治振興会との連携
- イ 青年活動の支援
- ウ 成人式開催
- エ 社会教育団体や市民活動グループ等の指導育成
- オ 団塊世代の地域づくりへの参画支援

2 家庭及び地域における教育力の向上

家庭教育は、子どもが基本的な生活習慣、豊かな情操、基本的な社会のルール、自立心や自制心などを身につけるうえで、重要な役割を果たします。

しかし近年、家庭を取り巻く状況は大きく変化し、子育てに対する負担感や育児に対する不安や悩みが広がっています。

このような状況のなか、家庭、学校、地域、関係機関が連携して、不安や悩みを抱く保護者などの複雑多様化する相談内容に対応するとともに、家庭や地域における教育力の向上に努めていく必要があります。

子どものための家庭及び地域における教育力の向上

思いやりの心を育て、心豊かな家庭づくりを推進するため、家庭・学校・地域の連携・協力を強化し、地域社会全体で子育てを支援する体制の整備・充実に努めます。

また、放課後等に子どもたちが安全・安心で健やかに過ごせる居場所を確保し、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の充実を図ります。

実現するための事業

- ア 家庭教育の推進
- イ 子どもの居場所づくりの推進
- ウ 親子対象講座の開催



放課後子ども教室
(地域の方の指導でひょうたんづくり)

平成 23 年度越前市教育方策（抜粋）

越前市教育方針及び越前市教育振興ビジョン等に基づいて、教育諸事業を推進するために教育方策を次のように定めます。

人間力を高める教育の充実

3 青少年の健全育成

家庭、学校、地域が青少年の健全育成に対して、積極的にそれぞれの役割を果たすよう取り組みます。

（１）次代を担う青少年の健全育成

ア 家庭は、日常生活を通して基本的な生活習慣等を学ぶことのできる最も基礎的な場所です。そのため、家族のふれあいを通じた信頼関係の確立など、家庭教育の充実を推進します。

イ 学校においては、地域との連携を図るなか、子どもたちそれぞれの個性を尊重し、心身ともに健やかな成長のための支援体制の充実を図ります。

ウ 地域においては、青少年が自立し、社会性をもった成人となるため、地域の人たちが積極的にかかわることが重要で、地域の伝統文化の伝承など、青少年の郷土愛を育むような地域の環境づくりに努めます。

《主な事業》

事業名	事業概要	H 2 3 年度 事業費(千円)	関係 項目
青少年育成事業	子どもの見守り活動や地域の青少年健全育成活動の推進 子ども会事業等の支援	2,534	ア イ ウ
丹南青少年愛護センター事業	補導委員会活動を通じた青少年の健全育成・少年の非行防止活動	8,311	ア イ ウ
家庭教育支援事業	家庭教育推進委員、スクールソーシャルワーカー、丹南青少年愛護センター等、関連機関との連携を図り、家庭教育の充実及び心豊かな家庭づくりの支援	2,089	ア イ ウ
青少年問題協議会開催事業	家庭・学校・地域、関係機関が集まり、青少年の指導、育成、保護等についての意見交換・事業の企画 通年事業として、家庭の日の普及・啓蒙	115	ア イ ウ

主体的に学びを活かす生涯学習社会の実現

1 生涯学習の充実と環境整備

生涯学習の場を一層充実させることや、生涯学習の成果を活かして、「自立と協働」を理念とし、地域自治の推進をはじめ、地域社会の活性化に取り組みます。

(1) 社会ニーズ及び地域の課題に対応した生涯学習

ア 誰でも足を運びやすく、参加しやすい、人と人を結ぶ生涯学習センターや地区公民館を目指すため、新しい時代を切り拓く人づくりや地域コミュニティづくりを推進します。

イ 生活課題や地域課題の解決に向け、地域自治振興事業と連携し、一体化した学習活動を推進することにより、その学習の成果をまちづくりや社会参加活動につなげます。

ウ 生涯学習センターは、各種養成講座など市全体の学級講座を、地区公民館は、その地域の課題解決や地域に根ざした学級講座を開催し、市民が主体的・積極的に取り組む学習機会の設定と提供に努めます。

《主な事業》

事業名	事業概要	H23年度 事業費(千円)	関係 項目
生涯学習講座開催事業	生涯学習センターや地区公民館における各種学級講座の開催	138,399	ア イ ウ

(2) 活力ある地域づくりの推進

ア 公民館は、「地区の総合的なまちづくりの拠点施設」として、学習の成果を生かし、地域自治組織や市民活動組織との連携を密にしながら活力ある地域づくりの推進に努めます。

イ 社会教育団体や市民活動グループの活動支援を行うと共に、次世代を担う青年の組織化を推進します。

《主な事業》

事業名	事業概要	H23年度 事業費(千円)	関係 項目
地域との連携事業	地域自治組織や市民活動組織と連携し、地域自治・地域社会の活性化等の推進		ア
社会教育団体育成事業	社会教育団体や青年活動の支援・指導者育成に努め、自主運営ができる体制づくりの促進	1,270	イ
成人式開催事業	実行委員が主体的に企画・運営する成人式の支援 新成人のつどいの全地区開催	1,300	イ

(3) 生涯学習施設の整備

ア 市民が利用しやすい施設の環境整備に努めるとともに、生涯学習施設の安全で利用しやすい計画的な改修の推進を図ります。

《主な事業》

事業名	事業概要	H23年度 事業費(千円)	関係 項目
生涯学習施設改修事業	地域活性化・きめ細かな交付金事業を活用した、生涯学習センター・地区公民館の冷暖房設備・屋上防水等の改修工事 (平成23年1月補正予算計上・繰越明許) ・空調機器改修工事 武生東公民館、吉野公民館 ・屋上防水工事 白山公民館	32,300	ア

(4) 図書館の資料・情報の収集と提供サービス

ア 利用者の多様な要望に応えられる各種資料の収集と整備を図るとともに、特色ある図書コーナーや地域の課題に対応した資料コーナーの充実を図り、仕事や暮らしに役立つ図書館を目指します。

イ 地域資料を収集・保存・展示し、越前市の歴史・文化情報の発信に努めます。

ウ 電算システムの適正管理と蔵書のデータベース化を図るとともに、図書貸出システムを改修し、住基カードでの図書貸出を可能にします。また、インターネットの活用により、県内の公共図書館等の本を互いに活用できるサービス、及び各家庭や学校からも予約リクエストが受けられるサービスを継続発展させます。

エ 図書館で所蔵する貴重資料や市が撮影した記録写真等のデジタル化を進めます。

《主な事業》

事業名	事業概要	H23年度 事業費(千円)	関係 項目
図書資料の充実事業	新刊購入図書のほか環境保全・子育て・介護・ものづくり等、地域の課題に対応した資料収集。生活弱者用図書等の収集提供 (平成23年1月補正予算計上・繰越明許)	25,954	ア
貸出システム改修事業	住基カードの多目的利用の一環として、図書館利用カードとして使えるようにシステム改修 (平成23年1月補正予算計上・繰越明許)	1,946	ウ
貴重資料のデジタル化等	図書館所蔵の貴重資料や古い写真等のデジタル化、寄贈図書のデータ作成ほか	6,000	エ

(5) 利用者に喜ばれる図書館の運営

ア 市内学校等への出前サービスを通じ、幼児や児童・生徒への読み聞かせや読書普及活動を推進します。また、学校と連携し、団体貸出用図書の活用を図るとともに、学校図書室の充実を地域ぐるみで進めます。

イ 市民が利用しやすい図書館運営、及び施設改修を実施します。

ウ 図書館ボランティアや図書館友の会との協働を推進するとともに、図書館で活動するサークル等に活動の場を提供し、自主活動を支援します。

《主な事業》

事業名	事業概要	H23年度 事業費(千円)	関係 項目
小中学校団体貸出用 図書の充実事業	地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、団体貸出用図書を充実 (平成23年1月補正予算計上・繰越明許)	2,400	ア
中央図書館自転車置 場増設事業	自転車置場を正面アーケード横に増設 (平成23年1月補正予算計上・繰越明許)	1,580	イ
今立図書館施設改修 事業	一階床張替え、トイレ改修、照明器具増設 (平成23年1月補正予算計上・繰越明許)	6,386	イ

2 家庭及び地域における教育力の向上

家庭、学校、地域、関係機関が連携して、家庭や地域における教育力の向上に取り組みます。

(1) 子どものための家庭及び地域における教育力の向上

ア 思いやりの心を育て、心豊かな家庭づくりを推進するため、学習機会と相談体制の充実に努めるとともに、家庭・学校・地域の連携・協力を強化し、地域社会全体で子育てを支援する体制の整備・充実に努めます。

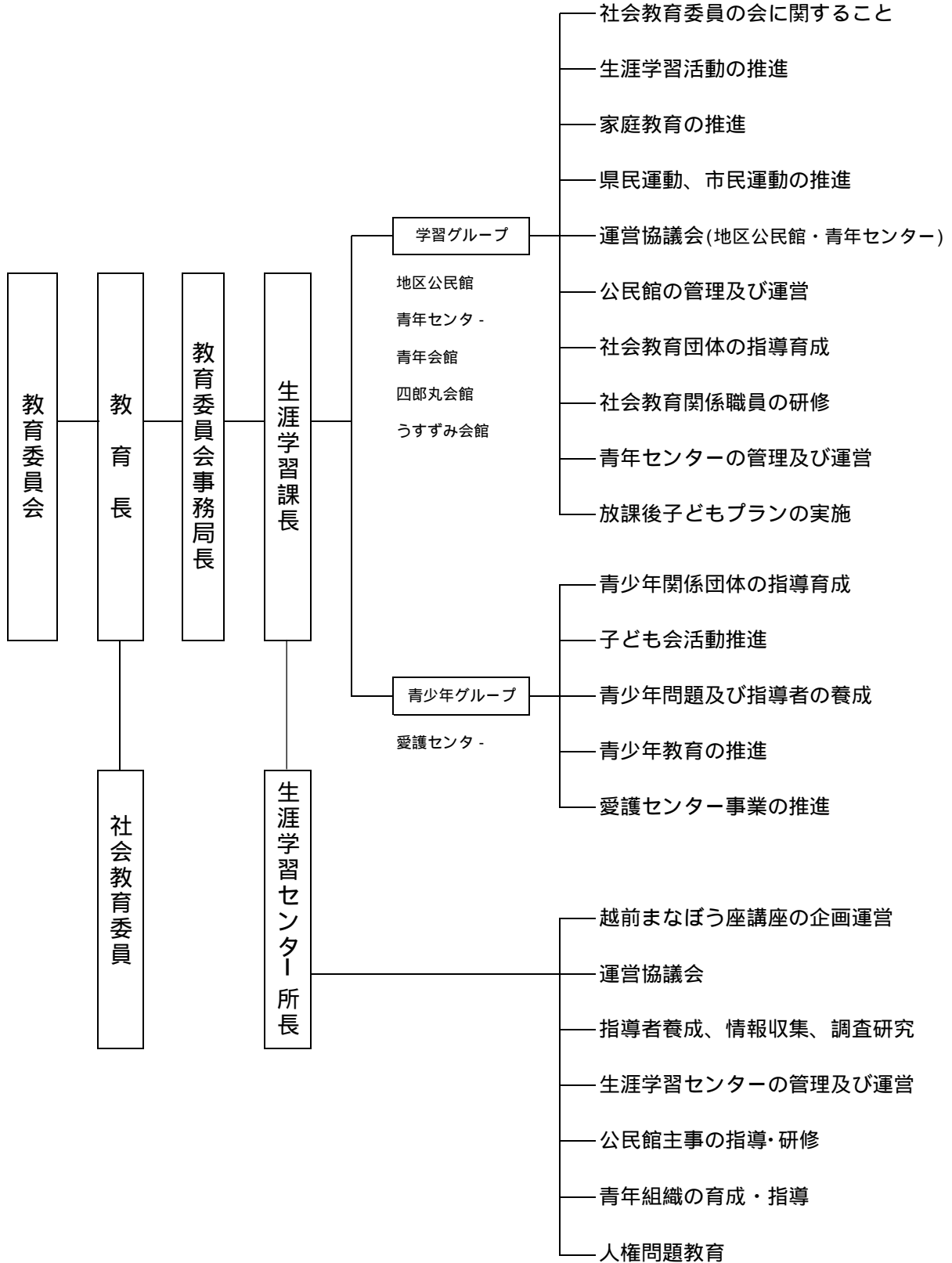
イ 放課後等に子どもたちが安全・安心で健やかに過ごせる居場所を確保し、学習活動やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の充実に努めます。

《主な事業》

事業名	事業概要	H23年度 事業費(千円)	関係 項目
家庭教育推進事業	子育て相談や研修会・勉強会等への講師派遣制度・いのちのぬくもり体験学習の支援	2,089	ア
子どもの居場所づくり 推進事業	放課後子ども教室(合宿通学事業含む)と放課後児童クラブ(学童保育)事業との連携強化、一体化の推進	7,289	イ

生涯学習課の組織

(平成23年4月1日現在)



家庭教育推進事業

1 趣旨

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、豊かな情操、基本的な社会のルールなどを身につけるための、重要な教育の場である。

しかし近年、都市化、小家族化、少子化、地域における連帯感の希薄化などにより、家庭を取り巻く状況は大きく変化し、子育てに対する負担感や不安感が広がっている。また、バーチャル世代・デジタル世代と称される若者世代を持つ家庭においては、家族間のコミュニケーションが不足している状況にある。

このような状況のなか、家庭・学校・地域・関係機関が連携して、複雑多様化する保護者の相談に対応し、すべての親が自信をもって安心して子育てができるよう支援していく必要がある。また、家庭教育の重要性についての意識向上を図り、家庭や地域における教育力の向上に努めなければならない。

平成23年度の越前市家庭教育推進事業においては、家庭教育サロン・出かける家庭教育サロン・家庭教育支援チーム活動・スクールソーシャルワーカーの活動を中心に、相談対応と学習機会の提供、親同士の仲間づくりに努めることにより、家庭教育の一層の充実と心豊かな家庭づくりの推進を目指す。

2 実施機関

越前市教育委員会

3 実施期間

平成23年4月1日～平成24年3月31日

4 事業の内容

(1) 越前市家庭教育推進委員会の設置

越前市家庭教育推進委員の委嘱

越前市教育委員会が委嘱する。

委員の任期は1年(委嘱した日から平成24年3月31日までとする)

越前市家庭教育推進委員の構成

委員は、医学・学校教育・学校心理・教育心理・幼児教育・家庭教育等の代表者をもって構成する。

委員の数(平成23年度18名)

スクールソーシャルワーカーは、アドバイザーとして推進委員会に参加する。

家庭教育推進委員の任務

家庭教育の推進に係る指導及び支援

家庭教育サロン(相談事業)・出かける家庭教育サロン(講師派遣事業)の推進

家庭教育支援チーム活動の推進

その他の家庭教育支援事業の推進

(2) 家庭教育推進委員会

家庭教育推進委員会を2回開催し、家庭教育の推進の在り方や支援の方法について話し合う。

(3) 家庭教育サロン(相談事業)の推進

幼児・小学生・中学生・高校生等、20歳前後までの子どもを持つ保護者や本人、指導者等を対象に、家庭教育上の諸問題に対して相談(教育的な支援)を行う。(必要に応じて、20歳前後以上の方の相談も受ける。)

保育園、幼稚園、小・中学校・高校との連携をより一層図り、PRを充実する。

相談希望があった場合、随時相談会を開催する。場所についても申込者の希望を考慮する。

(4) 出かける家庭教育サロン(講師派遣事業)の実施。

幼児・小学生・中学生・高校生等、20歳前後までの子どもを持つ保護者、指導者等を対象とする講演会や研修会に講師派遣を行い、家庭教育等についての理解を深める。

幼児・小学生・中学生・高校生等、20歳前後までの子どもを対象とする学習会を行い、青少年の健全育成を図る。

保育園、幼稚園、小・中学校、公民館、子育てサークル、各種団体に対してのPRを充実する。

内容については、申込み団体の意向を尊重する。(子育てに関すること、食育、青少年の健全育成、気がかりな子どもへの関わり方等、家庭教育に関する幅広い内容に対応する)

(5) 家庭教育支援チーム活動(訪問型家庭教育相談体制)の推進

幼稚園・保育園・小中学校訪問による家庭教育関連情報の収集と発信

子育てひろば(オレンジサロン・出張オレンジサロン)の開催と相談対応

学習機会の提供

(6) スクールソーシャルワーカーの活動(SSW配置事業)の推進

問題を抱えた児童・生徒の家庭への働きかけ

福祉関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整

学校内における問題解決のための体制構築、支援

その他児童・生徒の環境の問題に関し、適当と認められる業務

(7) その他の家庭教育支援事業の推進

学校教育課、適応指導教室希望学園、青少年愛護センター、健康増進課、児童家庭支援センター等、関連機関との連携を図る。

不登校の子どもを持つ保護者の交流会の輪を広げるための支援を図る。

ニートや引きこもりの方への支援を図る。

放課後子どもプラン推進事業

1. 趣 旨

少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援することを目的として、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を原則としてすべての小学校区で一体的あるいは連携しながら事業を実施する「放課後子どもプラン」が国において創設され、平成19年度からスタートした。

これを受けて、越前市では、「越前市放課後子どもプラン」を策定し、越前市の子どもの安全で健やかな活動場所を確保し、地域ぐるみで取り組む総合的な放課後対策の推進を図る。

2. 事業の内容

(1) 越前市放課後子どもプラン運営委員会の設置

放課後子どもプラン運営委員の委嘱

越前市教育委員会が委嘱する。

委員の任期は1年（委嘱した日から平成24年3月31日までとする）

放課後子どもプラン運営委員会の構成

委員は、行政関係者（福祉保健部及び教育委員会）、学校関係者、放課後児童クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉・青少年育成関係者、PTA関係者、公民館関係者、地域住民等をもって構成する。

委員の数（平成23年度10名）

放課後子どもプラン運営委員会の役割

放課後子どもプラン推進のための広報活動

事業計画、安全管理方策、活動プログラムの企画等の調整と検討

事業実施後の検証・評価

放課後子どもプランの見直し

その他、放課後子どもプラン推進のために必要な具申

【平成22年度開催状況】

・2回開催

(2) コーディネーターの配置

小学校区ごとに放課後子どもプランの円滑な実施と放課後対策の総合的な調整役として、地域、学校、家庭及び事業を連絡・調整するコーディネーターを配置する。

(3) 地域（小学校区単位）推進体制の整備

放課後子どもプラン地域推進組織の設置

地域社会が協働で放課後対策を推進するため、小学校区ごとに、放課後子どもプラン実行委員会を設置する。

放課後子どもプラン実行委員会の役割

「越前市放課後子どもプラン」に基づく、地域における放課後ニーズなど、地域の実情に応じた「放課後子どもプラン地域推進計画」の策定
地域の実情に応じ、コーディネーター及びボランティア等の人材の確保に関する意見と調整
「子ども教室事業」と「児童クラブ事業」の連携と調整
地域計画事業の検証・評価と見直し
その他、地域計画推進のために必要な調整と検討

(4) 放課後子ども教室の開催

安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画により、勉強、スポーツ、文化活動及び地域住民との交流を行う。
地域の小学生を対象とする。
公民館等の公共施設を利用する。事業内容により野外での活動を行う。

【平成22年度実施状況】

・全地域において、延べ1,339回開催。参加者数20,208人。

(5) 合宿通学事業の開催

子どもたちが親元を離れ、地域の大人たちの指導のもと、共同生活や体験活動を行うことにより、家庭の大切さを認識し、また子ども同士、地域の大人たちとの交流を深める。
地域の小学校3、4年生を対象とする。
開催期間は3泊4日または4泊5日とする。
公共施設、研修施設等で開催する。

【平成22年度実施状況】

・7地域において開催。参加者数258人。



丹南青少年愛護センターの活動

1 愛護・補導活動の充実

(1) 努力目標

- ア 日常街頭補導の強化
- イ 特別補導の強化
- ウ 効果的な広域合同補導の推進

(2) 事業内容

- ア 効果的な補導時間帯の設定
- イ 補導重点場所の選定と補導の強化
- ウ 合同補導の推進と夜間、長期休業中、学校行事日、祭礼、行楽期、海水浴シーズン等における補導の強化
- エ 各市町補導委員会との連携による巡回補導の推進

2 相談活動の充実

(1) 努力目標

- ア ヤングテレフォンの利用促進
- イ 相談指導技術の向上
- ウ 面接相談の充実

(2) 事業内容

- ア ヤングテレフォンPR用クリアホルダーの配布
- イ 各広報誌によるヤングテレフォン周知のPR
- ウ 相談員の研修会参加と事例研究
- エ 面接相談、電話相談等の事例を通しての研修
- オ 各相談機関との連携
- カ 訪問相談と招致相談の体制整備



3 環境浄化活動の促進

(1) 努力目標

- ア 有害環境の実態把握
- イ 環境浄化活動の促進

(2) 事業内容

- ア 有害図書等販売取扱店に対する立入調査
- イ 補導委員及び関係機関・団体からの情報収集
- ウ 有害図書等自販機撤去活動の推進
- エ シンナー取扱い業者に対する協力要請
- オ コンビニエンスストアに対する協力要請
- カ 書店、ビデオ店、がん具取扱い店、スーパー、量販店、カラオケ店に対する協力要請
- キ 酒、たばこ等の自動販売機による販売自粛の協力要請
- ク 「白ポスト」のPRと管理
- ケ フィルタリングソフトのPR

4 広報・啓発活動の強化

(1) 努力目標

- ア 広報活動の強化
- イ 青少年の育成、非行防止運動のキャンペーン

(2) 事業内容

- ア 「丹南の補導」の発行
- イ 支所補導だよりの発行
- ウ 健全育成・非行防止チラシの配布
- エ 街頭広報車による広報
- オ 意識啓発のための立て看板の設置
- カ 「青少年育成の日」「家庭の日」のキャンペーンの実施
- キ 「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強調月間」(7月)、「子ども・若者育成支援強調月間」(11月)のキャンペーンの実施
- ク 薬物乱用防止月間のキャンペーンの実施
5月～6月「不正大麻・けし撲滅運動」、6月20日～7月19日「ダメ絶対普及運動」、11月「福井県麻薬・覚せい剤乱用防止運動」
- ケ 啓発大会の開催

5 関係機関・団体との連携強化

(1) 努力目標

- ア 各関係機関・団体との情報交換
- イ 犯罪から子どもを見守る活動への支援・広報活動の強化

(2) 事業内容

- ア 警察署との情報交換
- イ 県内愛護センターとの情報交換
- ウ 校長会、教頭会等への出席と情報交換
- エ 小・中・高等学校生徒指導部連絡会の開催
- オ 地区・町内対話集会への参加
- カ 各市町民会議との連携
- キ 犯罪から子どもを見守るため、各関係機関・団体との連携の強化

6 研修活動の推進

(1) 努力目標

- ア 補導委員の意識の高揚と資質の向上
- イ 愛護センターの効果的運営と職員の資質の向上・各関係機関・団体との情報交換

(2) 事業内容

- ア 補導委員新任者研修の開催
- イ 補導委員研修会の開催
- ウ 丹南青少年愛護センター補導委員研究大会の開催
- エ 補導委員会の開催
- オ 視察研修と情報交換



青少年健全育成越前市民会議

活動方針

郷土の担い手となる青少年が、心豊かにたくましく成長することは、市民すべての願いであり、大人に課せられた責務である。

しかし、近年、子どもの模範となるべき大人のモラル欠如、子どもを対象とした犯罪の頻発、家庭や地域社会の教育力の低下、インターネットや携帯電話などの情報通信機器を媒体とする問題など青少年をめぐる環境が悪化している。

当市民会議では、これらの諸問題に対処するため、多様化する現代社会にふさわしい青少年育成運動のあり方について検討を深め、地域の核となる運動推進者を養成するとともに関係団体とのより一層の連携強化を図り、活動の一体化を推進する。

「大人が変われば、子どもも変わる運動」、「地域のおじさん、おばさん運動」を強力に推進し、平成23年度重点目標の実現に向けて邁進する。

重点目標 「夢をもち、心豊かでたくましい青少年の育成」

重点実施項目

- 1 「家族の日」「青少年育成の日」の積極的啓発に努める。
- 2 安心して明るい家庭、地域をつくるため、「子ども安心県民作戦」を推進する。
- 3 関係機関・団体等との連携を強化し市民会議の活性化と地域活動の促進に努め、自立と地域社会との絆を深める。
- 4 青少年を取り巻く環境を浄化し、携帯電話をはじめ情報通信機器を媒体とする有害サイトから青少年を守る運動を推進する。
- 5 青少年の薬物乱用等の非行、問題行動の未然防止につとめ、いじめをなくし社会性をはぐくむ運動を推進する。
- 6 青少年育成実践運動の活性化により、青少年の社会参加を促進する。

本部事業

- 1 子ども・青少年の安全安心等啓発促進事業
啓発キャンペーン活動
安全・安心グッズ作成
- 2 見守り隊活動の強化
各小中学校見守り隊ボランティア保険の加入促進。見守り隊に対する参加呼びかけと研修会の実施。
- 3 「青少年健全育成越前市民のつどい」開催
(1) 開催日 平成23年7月3日(日)
(2) 場 所 越前市文化センター 小ホール
(3) 講 師 こども教育宝仙大学講師 前田 信一 氏

地区事業

- 1 青少年健全育成事業
ア 町内対話集会への協力
イ 青少年の社会参加、奉仕活動の参加促進
ウ 明るい家庭づくりの啓発と推進
エ 「家族の日」の高揚のため『家族ふれあいデー事業』の推進
オ 地域のおじさん、おばさん運動の推進
カ 青少年健全育成のための環境づくり
キ 有害環境浄化のための活動

越前市生涯学習センター 事業

当センターは、「各種養成講座を開催し、市民が主体的・積極的に行動できる人材の養成のための学習機会の提供に努めるとともに、センターの各設備機能をフルに活用し、市民の主体的な活動の場の提供に資する」という設置目的に沿って、事業を推進し、社会教育法第20条に掲げる目的を実現するという役割を担っている。

生涯学習センターの主催事業は、従来、武生市時代に武生ユニバーシティとして出発した。平成17年に越前市が誕生して、この事業も「越前まなぼう座」に衣替えして今日に至っている。

この講座は、市民ぐるみでいっしょに学習し合い、高め合うとの狙いを込めて、「まなぼう座」という呼称を講座の名称とし、体系化されたものである。

越前まなぼう座講座事業について

1.平成22年度越前まなぼう座 講座実績

講座名	延べ参加者数	回数	平均
越前おもしろ歴史回廊	399	8	50
ふるさと語り部講座	307	8	38
家庭菜園（初級級）	373	5	75
家庭菜園（上級）	309	5	62
夏休み子ども教室	230	6	38
教養講座（万葉集）	68	3	23
えちぜん自然塾	154	6	26
はじめよう座	102	6	17
パソコン講座	456	11	41
地域サポーター講座	165	19	9
短期講座	476	26	18
特別講座（共催講座）	989	10	99
ゆうす・くらす	125	10	13
13講座	4,153	123	34

2.平成23年度「越前まなぼう座」講座計画

講座名	内容	回数
越前おもしろ歴史回廊	郷土の歴史を研究するための基礎を学習	8
ふるさと語り部講座	歴史、旧跡について学び、語り部として伝承	9
家庭菜園(初級編)	食育の原点として野菜作りの基礎を学ぶ	7
家庭菜園(上級編)	野菜作りの応用と技術の向上、地域への実践活動	7
えちぜん自然塾	自然環境への関心を深め、生活に役立つ知識を得る	5
パソコン講座	電子申請、災害情報、HP閲覧などを市民に普及	9
夏休み子ども教室	長期休暇に開催。科学体験・実験や郷土学習など	6
教養講座	文学等で知識を深め、暮らしをより豊かにする講座	3

ゆうす・くらす(20~30代の社会人対象)	自分磨き・スキルアップのための講座	8
地域サポーター講座	講座の知識を地域に還元する地域サポーターを養成	2
短期講座	生活を充実させるための魅力ある内容のプチ体験講座など	10
特別講座 (共催講座)	式部顕彰会と「源氏物語を読む会」を共催、他	10

3. 生涯学習リーダーバンク事業について (平成23年2月末現在 登録状況)

教育等一般	25人	体育・スポーツ・レクリエーション	15人
人文・社会科学	14人	家庭生活・趣味	25人
自然科学	4人	市民生活・国際関係	16人
産業技術	2人	その他(マスメディア)	1人
芸術・文化	39人	計	141人

4. 育成支援事業について

出前講座	地区民や団体育成の一環としてリーダーバンクより講師派遣	(随時)
青年活動支援事業	地域で青年グループが活動できるよう支援する	(随時)

5. 自主グループの登録支援事業 (平成23年度登録状況)

教養語学	10グループ	音楽・運動	5グループ
伝統文化・芸能	14グループ	服飾・料理・家庭生活	4グループ
書道・美術・工芸	13グループ	計	46グループ

生涯学習センター 利用状況について

生涯学習センター・市民ホール利用状況

	社会教育関係		官公署関係		その他		総数	
	件数	利用者数 (人)	件数	利用者数 (人)	件数	利用者数 (人)	件数	利用者数 (人)
H.17	2,282	37,010	2,132	43,473	80	3,631	4,494	84,114
H.18	2,379	38,863	1,776	38,928	73	3,777	4,228	81,568
H.19	2,191	33,944	1,475	35,660	76	3,285	3,742	72,889
H.20	1,715	21,883	1,540	33,451	467	14,064	3,722	69,398
H.21	2,003	29,162	1,731	33,522	380	12,479	4,114	75,163
H.22	1,944	23,763	1,684	38,566	509	18,407	4,137	80,736



武 生 東 公 民 館

〒915-0071 越前市府中一丁目 13-15

電話 23-4763 (22-3000 内線 2851) FAX 23-6546

e-mail takefuhigashi_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/001/higashi.jsp>

テ ー マ

みんなが集まり、ともに学び、心をつなぐ私たちの地域 ^{まち} 武生東

方 針

みんなの参加による楽しく魅力ある生涯学習と、活力ある地域を創る公民館活動を推進する。

重点目標

1. 生涯学習の場として多様な学習機会の提供
2. 安全安心で美しい住みよい町づくりに、一人ひとりの力の結集
3. 子どもの居場所・青壮年・高齢者の生きがいづくり
4. 「ふるさと東」の再発見
5. 「みんなのお茶の間」として親しまれる公民館の形成



合宿にて菜の花の種取
(日野川河川敷にて)

主な協働事業

1. 菜の花フェスタ in ひがし

菜の花を通じて、環境を守ること、地域を大切にすることなどを地域住民に再認識してもらうことを目的とする。今年度は、東日本大震災を受けてフェスタの開催は中止としたが、菜の花事業は継続しており6月実施の合宿通学のメニューにも種取りを組み入れている。今年は寒さが長引き花の咲き具合もいまひとつだったので、種取も例年のようにできないかもしれないが、地域の方々が、自然環境を守るためまた東地区の人達に喜んでもらえるようにと、菜の花の育成に一生懸命取り組んでいることを、子ども達に伝えるためにも河川敷に行くこととしている。

2. 合宿通学(越前市事業)

自治振興会をはじめとする地域の各種団体や、一般のボランティアなどで実行委員会を組織し地域ぐるみで取り組んでいる。また、学生ボランティアの協力も得て幅広い年代層のかかわりで子ども達を見守り、成長を助けている。小学校保護者も積極的な協力体制となってきた。

3. 納涼フェスタ in ひがし

越前市サマーフェスティバルふるさと踊りの練習を兼ねて、地区民同士の親睦を図る。また、蔵の辻を会場とすることで街中活性化に一役買っている。

4. 東地区文化祭

敬老会も同時開催している。年齢層の上がっているとはいえ、楽しく学んでいる自主講座受講生の、日頃の学習の成果を発表する場でもある。見る側にも元気を与えている。

5. 冬遊フェスタ in ひがし

地域全体の三世交流の場となることを目的としている。また、季節行事や伝承あそびを受け継ぐ場ともしていきたい。

6. 広報紙「かがやき東」発行

公民館利用状況(平成22年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
利用者数	2,234	2,306	2,054	1,937	2,450	2,626	7,002	1,929	1,585	1,818	1,767	1,967	29,675
件数	160	193	205	214	223	281	278	221	186	198	206	235	2,600

武生西公民館

〒915-0814 越前市中央2丁目5-35

電話 23-4635 FAX 23-4820

e-mail takefunishi_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/002/takefunishi.jsp>

テーマ

「活力と魅力にあふれる歴史文化のまちをめざして」

方針

公民館が生涯学習の拠点となって自治振興会と連携し、「人づくり」、「家庭づくり」、「地域づくり」の推進をはかり、市民憲章の実践化に努める。

重点目標

1. 地区住民のニーズに対応した学級の充実
2. いつでも、誰でも集まって楽しく学べる拠点づくり
3. 人にも地球にも優しいコミュニティづくりの推進

主な協働事業

1. 歴史街道を歩こう（歩け歩け大会）

公民館・自治振興会・地区内の各種団体が連携し、地域の寺社、史跡をめぐり、ふるさとの再発見をしながら、子どもたちが地元への愛着心を高め、地域の人々のふれあいと交流を図る。

2. 西地区文化祭

自治振興会、公民館その他各種団体との共催で開催し、地域文化の振興、発展と地区民交流をテーマとする。西小学校、西児童センターを会場に、作品展示、芸能発表、模擬店などで多数の地区民が鑑賞し、ふれあいを深める。

3. ピーターパンクラブ

放課後子供教室の一環として農業体験・ボランティア・料理・IT学習・子供煎茶など様々な体験学習を行い、子供たちの健全な育成を図る。



子供煎茶教室最後のお茶会

公民館利用状況（平成22年度）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公民館利用人数	2,673	2,914	2,695	3,160	3,452	3,077	10,705	2,508	2,146	2,225	2,375	2,400	40,330
公民館利用件数	152	160	172	189	154	200	271	173	132	155	163	147	2,068

武生南公民館

〒915-0824 越前市武生柳町 12-27

電話 23-5103 FAX 24-2652

e-mail takefuminami_ko@city.echizen.lg.jp

<http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/003/takefuminami.jsp>

テーマ

ホッととして、グッとくるまちなみ地区

方針

「人間性と個性豊かな人づくり」「心豊かで温かみのある家庭づくり」「魅力と活力のある地域づくり」を実現するため、地域の連帯感を醸成し、家庭、学校、地域社会が連携を図りながら、住民が生き生きと暮らしていくための「学び」や「地域に根ざした特性ある事業」を積極的に展開していく。

重点目標

1. 地区住民のニーズ、地域の課題及び今日的課題に対応した生涯学習活動の展開
2. 男女共同参画社会の実現へ向けての展開
3. 住民が主役の、暮らしに根ざした魅力と活力ある地域づくりの推進
4. 家庭・学校・地域社会が一体となった教育力の向上
5. 住民の学びのための「情報」の発信と提供
6. 地域の文化を継承し文化創造のふるさとづくり
7. 三世代間交流、多文化共生

主な協働事業

1. 男女共同参画推進事業

H14年3月に男女共同参画公民館宣言をして以来、南地区男女共同参画推進委員会(いっしょの会)として、あいさつ運動、伝承行事、講演会、先進地視察、会員研修等の事業を計画し活動している。22年度は、会員の質の向上と若い層への底辺の拡大をねらい、研修に力を入れて取り組む。

2. ニコ・サンまつり(文化祭)

自治振興会、公民館、小学校、その他各種団体の共催で、毎年10月の土・日2日間で開催。公民館と紫式部公園を会場とし、作品展示・芸能発表・模擬店などを行い、多くの人で賑わう。

3. 『ふるさとを想う』作文発表

福井県のふるさとの日(2月7日)に因み、小学校6年生

中学生2年生の子供達に『ふるさとを想う作文』を書いてもらい、選考の結果、表彰式

を行い代表が発表。午後からは、もちつき大会、伝承料理・遊び

などをして地区への愛着をはかる。



H22年2月6日 『ふるさとを想う作文発表ともちつき大会』

公民館利用状況(平成22年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
利用者数	2,404	2,518	2,554	3,261	2,816	5,139	6,755	2,453	2,412	1,896	2,713	4,520	39,441
件数	147	174	180	240	197	237	211	200	186	164	214	206	2,356

神山公民館

〒915-0872 越前市広瀬町 102-55-2

電話 23-8010 FAX 23-9902

e-mail kamiyama_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/004/kamiyama.jsp>

テーマ

歴史と豊かな自然に育まれたふるさと神山、さらに明るく伸びやかに

方針

活気とやる気を喚起する地域づくりを目指した公民館として、老若男女の参加による魅力あるコミュニティを醸成する。

重点目標

1. 地区住民のニーズ、地域の課題及び今日的課題に対応した生涯学習活動の展開
2. 住民が主役の、暮らしに根ざした魅力と活力ある地域自治の推進
3. 自ら考え、活気あふれる住みよい地域づくりのため、身近で定期的な情報の発信と提供

主な協働事業

1. 歴史と遊ぼう馬借街道 in 神山

地元に残る歴史遺産(府中西街道)を再確認し、関心を高めようと本年は坂口地区から広瀬、池ノ上の林道を通り池ノ上町善光寺の戒壇巡りを経て神山地区までの約 10 ㎞を巡るウォーキングを開催。毎年、地区民や市内外から 300 人近くが参加し、地区の一大イベントとなっている。



歴史と遊ぼう馬借街道 in 神山

2. 神の里山龍神フェスタ

地区住民のふれあいの場として、また日ごろの文化活動の発表と、一層の向上を図ることを目的として平成 18 年より「神の里山龍神フェスタ」として開催。今日では、秋の一大事業として地区民の期待が高まっている。

3. かみやま夏まつり

一時中止していた本事業は多くの地区民から開催要望が強く、昨年より再び実施している。本事業は地区の老若男女が真夏の夜のひと時を踊り語り、そして様々なイベントに参加することで親睦と交流が深まると共に各種団体の協力も得られることから、今後の地区発展に結びつくものと思っている。

4. ふるさと伝承料理 「昇龍お膳」

近年便利さや手軽さが優先されている生活の中で、「食育」や「スローフード」という言葉が強く叫ばれるようになってきた。そこで神山地区では平成 15 年から、手間ひま掛けたふるさと伝承料理の普及に取り組んでいる。地元で取れた食材を、地元の皆さんが調理し地元の人が味わう。見た目の派手さはないが、伝承料理の輪は確実に広がってきたように思える。

公民館利用状況 (平成 22 年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
利用者数	691	997	1,372	917	1,347	731	2,471	1,348	598	617	617	690	12,396
件数	59	48	63	61	49	59	56	49	42	40	48	61	635

吉野公民館

〒915-0806 越前市本保町 19-6

電話 23-4600 F A X 21-3641

e-mail yoshino_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/050/050/index.html>

テーマ

みんなで築こう 高めよう ふるさと吉野の地域自治

方針

人間性豊かな人づくりと活力ある地域づくりの拠点として、地域住民が集い・ふれあい・分かち合う

重点目標

1. 地区住民のニーズ、地域の課題及び今日的課題に対応した生涯学習活動の展開
2. 住民が主役の、暮らしに根ざした魅力と活力ある地域自治の推進
3. 子どもから高齢者まで実りある楽しい生涯学習の推進
4. 自ら考え、住みよい地域づくりのための「情報」の発信と提供



【サマーキャンプで流しそうめん】

主な協働事業

1. 納涼祭

毎年、納涼祭実行委員会を中心に盛大に開催。

各団体が模擬店（約20種類）を出店する。中・高校生の店「スーパーボールすくい」、青年の「かき氷」は長蛇の列である。ヨサコイや盆踊りも子どもから高齢者まで楽しんでいる。

2. サマーキャンプ

自治振興会、公民館、青少年育成推進会、子ども教室サポーター、青年共催でサマーキャンプを実施。青年達がリーダーになって参加者（小学生・中学生）を指導する。異年齢交流や自然の中での野外体験は、子ども達の自主性や協調性・社会性を育成する。

3. 文化祭

自治振興会、公民館、小学校、幼稚園、保育園、その他各種団体の共催で開催。小学校講堂で作品展、芸能発表、模擬店等で地域住民の活力ある事業となっている。

4. 吉野子ども教室（放課後子どもプラン推進事業）

キッズサポーター17名の見守り・指導のもと、放課後の子ども達の安心で安全な居場所づくりとして、毎週木曜日、公民館と小学校体育館に分かれ、カルタ・料理・絵画・自由遊びなど活動している。また、年2回のキャンプやクリスマス会など地域住民との交流・世代間交流の場を設けている。

公民館利用状況（平成22年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1,311	1,110	1,414	1,295	1,975	1,646	2,662	1,120	1,248	911	1,251	1,323	17,266
公民館利用件数	123	116	132	129	120	124	132	105	109	102	116	131	1439

国高公民館

〒915-0082 越前市国高二丁目 324 - 13

電話 23 - 4601 F A X 22 - 8699

e-mail kunitaka_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/006/kunitaka.jsp>

テーマ

『みんなでつくろう 笑顔いっぱい 夢あるまちを』

方針

心ゆたかな人づくり、地域づくりをめざし、お互いのふれあいを大切にする。

重点目標

1. 地域全体で子どもを育てる事業の支援や青少年の健全育成など地域教育力の向上
2. 住民の集い、団体活動、相互学習としての場所づくり
3. 学習を地域にいかすボランティアの推進
4. 各種団体・自治振興会との協働を図りながら、活力ある地域づくり、人づくりの推進

主な協働事業

1. サンサンふれあい合宿通学事業

国高小学校4年生の希望者を対象に、地域ボランティアや学生ボランティアの支援で4泊5日の日程で実施。親元を離れ合宿通学をしながら学校に通うことで自主性や協調性を高め未来に羽ばたく力を身に付ける。また、この事業によって地域力の向上につながっている。

2. 里山を守り育てる事業

国高地区のシンボルである村国山を守り育てる事業。景観保存（清掃作業）夫婦池ビオトープの維持管理、冬に実のなる木の管理等を、地元の小・中学校生のボランティアや村国山に係わっている各団体と連携しながら活動している。6月には越前市の建設業会の協力を得て、大掛りな夫婦池の泥上げ作業や遊歩道などの清掃作業を実施。住民が安全に散策できる憩いの場となっている。



写真：村国山夫婦池の泥上げ作業

3. 白銀のつどい親子スキー教室事業

毎年2月11日（祝）に今庄365スキー場において児童から大人の参加希望者がランク別に分かれ、地域の指導員や補助員よりスキーの楽しさと技術を教わる。スキーを通して、親子・地域の方々とのふれあいの場となっている。

4. 国高まつり（総合文化祭）

毎年10月の第4日曜に、地域区民の学習成果発表や世代間交流の場として国高小学校で開催。作品展示・芸能発表・余剰品販売・模擬店・お茶席などを設け、長寿会・敬老会も同時開催し、小さいお子さんからお年寄りまで多くの区民で賑わう。

公民館利用状況（平成22年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1,987	1,968	1,495	1,770	1,296	2,042	1,494	1,860	1,635	1,411	2,094	1,716	20,768
公民館利用件数	164	165	169	178	155	160	165	171	155	135	189	180	1,986
スポーツルーム利用者数	1,569	1,576	1,882	3,655	1,286	1,659	3,123	1,726	963	930	982	1,359	20,710
スポーツルーム利用件数	77	92	103	103	85	85	102	100	70	74	76	92	1,059

〒915-0894 越前市丹生郷町 13-20-1
 TEL 23-3508 FAX 24-1733
 e-mail omushi_ko@city.echizen.lg.jp
 URL http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/007/omushi.jsp

テ ー マ

豊かな環境と歴史を土台に元気な大虫を目指す人づくり・町づくり

方 針

生涯学習の推進の拠点として多様な学習の要求が実現できるように努めるとともに、地区民の連帯意識の高揚を図り、明るく豊かな地域・環境づくり、活力ある町づくりが進められるよう地区民と協働する。

重点目標

1. 青少年の健全育成と家庭教育力の向上
2. 花と緑のある町づくりの推進
3. 学級、講座生の意欲的取り組みと生涯学習の推進
4. 子育て支援と高齢者の生きがいサロンの開設
5. 住民の健康と体力の増進、スポーツ参加推進
6. 災害のない町づくりの推進
7. 伝統行事の継承と郷土歴史の発掘・調査保存及び郷土愛思想の推進
8. 団塊の世代のセカンドステージ支援

主な協働事業

1. 青年学級
 地域のイベントに企画から参加し自ら運営することによって、青年たちの郷土愛を育み定着を図る。
2. ゆめポケットおおむし（放課後子どもプラン推進事業）
 児童館（学童保育）と連携した活動を行い、地域の中から講師を迎え、また各団体の協力を得ながら世代間交流を深める。
3. おおむしっ子合宿通学
 大虫小学校の4年生対象に実施され、ほとんどの児童が参加となっている。今年度も地域ボランティアを中心に、学生ボランティアの参加もあり更に進化した取組としていく。
4. 文化祭
 学級・自主講座の学習成果発表の場として、また文化交流・世代間交流の場として、地区民と協働で大きな期待感が持てるイベントにしていく。

ゆめポケットおおむし



自分たちで作ったお菓子を地区文化祭で販売する子どもたち

公民館・体育館利用状況（平成22年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1,480	1,521	4,430	1,419	4,269	1,758	4,082	1,606	1,443	1,313	1,610	2,913	27,844
公民館利用件数	106	144	150	143	133	120	146	133	124	110	131	150	1,590
スポーツルーム 使用者数	852	993	1,554	956	543	884	1,106	1,379	777	912	916	967	11,839
スポーツルーム 利用件数	75	77	78	74	55	82	91	75	68	72	74	75	896

坂 口 公 民 館

〒915-1225 越前市湯谷町 24-18-1

電話 28-1046 FAX 28-1046

e-mail sakaguchi_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/008/sakaguti.jsp>

テ ー マ

里山の自然と歴史に育まれたエコミュージアム・さかのくち

方 針

地域の拠点施設として、いつでも誰でもが足を運べ、人と人がつながる心豊かな住みよい地域づくりを目指す。

重点目標

1. 地区住民のニーズ、地域課題に対応した生涯学習の推進
2. 地域の自然環境を守る、環境学習の推進
3. 花咲く潤いある地域づくり、活力ある住みよい地域づくりの推進

主な協働事業

1. さかのくち三大まつり事業

(納涼祭・里山健康まつり・冬遊まつりどんと祭)

地区内外の人々が集まり交流ができる場の提供を目的に、年に3回のイベントを実施。

特に納涼祭は、お盆の時期に行うため、地元へ帰省する地区外の来場者が多い大イベントである。



『おかえりなさい納涼祭』

2. さかのくち広報発行事業

地域の旬の情報を発信するため、住民が広報委員となり、地域に密着した新聞を発行している。

地区内のみならず地区出身者や当地にゆかりのある方々と心の通信ができるような紙面づくりを目指している。

購読者からの感謝の手紙をいただくことが広報委員にとっては、一番うれしい。



住民参加型広報誌『さかのくち』

3. 地域活性化事業

農山漁村の地域力「地域の人的、経済的、精神的自立を支援する」を発掘ため、里山の自然と生活文化資源を生かした集落の再生に取り組んでいる。地域再生の拠点の場として活用している古民家、通称 AOI-IE で催しを毎年行っており、今年度はピアノによるミニコンサートや落語同好会による寄席を開催した。



『古小民家 de コンサート』

公民館利用状況 (平成 22 年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
利用者数	399	193	319	298	394	423	361	262	343	458	276	217	3933
件数	53	39	54	49	42	47	54	34	52	48	26	45	543

王子保公民館

〒915-0857 越前市四郎丸町 65-2-1

電話 23-9666 FAX 23-4602

e-mail oshio_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/009/oushio.jsp>

テ マ

「花の咲くふれあいの町王子保」

方 針

誰もが足を運び、心がふれ合いつどいの場となる公民館が中心となり、学校、地域が一体となったよりよい人作り、地域作りを目指す。

重点目標

1. 地域課題の解決に向け地域自治振興事業と連携し一体化した学習活動の推進
2. 子ども達のための家庭、学校及び地域における教育力の向上
3. 住民主体の活力ある地域づくりの推進
4. 身近で分かりやすい情報の発信と提供

*****子育てサロン*****

イチゴの苗植



クリスマス会



主な協働事業

1. おうしお夏まつり

各種団体の協力のもとテナントやイベントを行ない、地域を活気付ける。

2. 福祉健康まつり・ふるさとウォーク

子どもから高齢者までを対象にふるさとウォークや健康チェックなどを行ない、健康に対する意識を高める。

3. 敬老会・文化祭

高齢者の方が敬老会・文化祭に参加し、楽しいひと時を過ごす。

4. 子育てサロン

未就園児とその親を対象にした子育て支援教室

公民館利用状況（平成22年度）公民館・体育館は別計算

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1,199	1,288	1,130	1,138	2,651	1,031	2,516	982	825	943	832	1,303	15,838
公民館利用件数	105	95	112	118	96	98	118	84	73	73	75	117	1,164
スポーツルーム利用者数	477	380	368	2,876	293	308	177	372	211	309	325	347	6,443
スポーツルーム利用件数	39	29	30	34	22	31	19	38	24	30	31	32	359

北 日 野 公 民 館

〒915-0052 越前市矢放町 21 - 11

電話・FAX 23 - 4603

E-mail kitahino_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.echizen.lg.jp/office/090/070/011/kitahino.jsp>

テ ー マ

豊かな自然とあふれる希望 未来にはばたく故郷きたひの

方 針

健康で心豊かな人づくり・北日野づくり

重点目標

1. 社会のニーズ及び地域の課題に対応した生涯学習の推進と人材発掘
2. ふれあい 学びあい 地域自治の拠点としての公民館
3. 活力ある地域づくりのための情報発信と広報活動

主な協働事業

1. **笑顔でつながる素敵な北日野づくり事業**
地区民が一堂に集いふれあうコミュニティ事業
(地区納涼祭・文化祭・二十歳のサロン 等)
2. **子育て支援事業(子育て教室 てんとうむし)**
地域で安心して子育てをするための仲間づくり
と親育ての活動
3. **放課後子どもプラン(きたひのKID'S)**
体験活動や地域住民との交流活動を通して、子ども
の自主性を伸ばし故郷への郷土愛をはぐくむ活動
4. **きたひのづくり大集会**
ふるさと「きたひの」の将来や課題について語り合
う対話集会
5. **広報事業**
活力ある地域づくりのため広報紙「きたひのつうしん」の発行
とホームページによる情報の発信



二十歳のサロン



春よとどけ
震災応援メッセージ
きたひのKID'S

公民館・体育館利用状況(平成22年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館 利用件数	128	121	153	136	114	141	118	117	125	120	137	148	1,558
公民館 利用者数	1,422	1,235	1,244	1,407	1,223	1,430	1,156	1,138	1,135	1,070	1,491	1,690	15,641
体育館 利用件数	74	62	72	75	66	74	81	72	79	74	80	102	911
体育館 利用者数	1,034	1,085	1,291	1,161	1,031	1,470	1,537	1,161	1,172	1,126	1,226	1,513	14,807

北新庄公民館

〒915-0004 越前市北新庄公民館

電話 23-4604 F A X 23-5408

メールアドレス

E-mail kitashinjo_ko@city.echizen.lg.jp

URL<http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/010/kitashinjo.jsp>

テーマ

どうせ住むなら生き生き、わくわく北新庄

方針

地域住民の各種の日常要望にこたえる生涯学習の場としての役割を果たしながら、思いやりの人間関係を築き、民主的で明るい健康な地域づくりに努める。

重点目標

1. 地区住民のニーズに対応した生涯学習の推進
2. 地域で子どもを育てる事業や青少年健全活動育成の推進
3. 各種団体・自治振興事業との連携を図りながら、相互学習の場としての公民館づくり

主な協働事業

1. 体育推進事業

自治振興会、体育協会などと協力し、地区体育祭をはじめ、各種スポーツ大会を開催し、スポーツの振興と、世代間の交流をはかる。

2. 放課後子どもプラン

公民館、自治振興会、保育園が協力し、平日放課後や休日、長期休暇などの子どもの居場所作りと、学童保育児童の受け入れ。

3. 子育てサロン事業

公民館、自治振興会、NPOなどが協力し、公民館を拠点に未就学児の子育てサロンを行う。

4. 街中にほたるを飛ばす事業

山間部や、ほたるが飛ぶための環境が整った場所ではなく、街中にほたるを飛ばす事業。自治振興会、小学校、保育園、松ヶ鼻資源保全協議会、などと協力して、小川の環境整備、えさ、幼虫の放流など。



放課後子どもプラン
市議会議場見学

公民館利用状況（平成22年度）公民館・体育館は別計算

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1165	1477	930	1331	1094	998	1065	976	740	911	852	1033	12,572
公民館利用件数	118	96	87	88	81	93	95	75	75	72	83	100	1,063
スポーツルーム 使用者数	534	530	651	1959	247	447	1345	677	464	525	660	944	8,983
スポーツルーム 利用件数	81	21	32	37	21	23	45	26	34	51	52	68	491

味真野公民館

〒915-0025 越前市味真野町7-2-1

電話 27-1926 FAX 23-1598

e-mail ajimano_ko@city.echizen.lg.jp URL http://www2.ttn.ne.jp/~ajimano_cc/

テ - マ

豊かな自然と歴史・文化ただよ 誇りと愛着がもてる味真野

方 針

誰もが暮らしやすい「味真野」のまちづくりのために、公民館は総合的な地域づくりの拠点として、住民・各種団体関係等と連携を密にしながら、豊かな自然環境を活かした、魅力と活力のある特色ある地域づくりを実現する。

重点目標

1. 誰でもがいつでも集い、学び、繋がる「生涯学習の拠点」の公民館活動
2. 住民が主役のまちづくりの推進を図る「地域づくりの拠点」
3. 文化意識の高揚と歴史遺産の継承
4. 「情報」の発信と提供



茶摘みの様子

主な協働事業

1. 「味真野茶文化振興事業」

かつて製茶業が盛んに行われていた味真野地区。

5月に、お茶は新芽を摘み蒸して手もみをして、工場では「茶もみ唄」を歌いながらにぎやかに製茶されたといわれている。忘れ去られてしまった地元に残るすばらしい唄を地域に残し伝えたいという思いから事業が生まれ、平成22年度は、第1回味真野茶もみ唄全国コンクールが開催された。今年度も、茶摘み、茶揉み体験等を通して文化的な継承をしていく事業を展開する。

2. 文化祭

地区民に文化事業の発表の場、公民館の自主講座の発表の場として、文化意識の高揚と交流を深めた。前夜祭には、青年団による子どもたちのために映画会等を開催。味真野地区ならではの玉菊コンテストやノッポひまわりの表彰も行われる。子ども達の参加が多く、子どもからお年寄りまでも一つとなり、盛り上がりのあった文化の祭典だった。



文化祭で発表する子どもたち

3. ふるさとづくり大会

毎年、2月の第3日曜日に実施している地域の課題をテーマにして地域住民の交流の場として開催している。公民館を会場に、平成22年度は「家庭の和・地域の輪 みんなで明るいまちづくり」をテーマに開催。会場では、恒例の四中跡地で子ども達といっしょに育てたそばの「そば打ち体験」と試食を中心に、みんなで笑い、みんなで食し、地域の結束力、地域の輪を感じた大会だった。

公民館利用状況（平成22年度）

公民館・体育館は別計算

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1,348	907	1,132	1,108	1,147	1,131	1,007	917	917	825	933	1,289	12,661
公民館利用件数	96	78	92	85	81	78	87	82	69	68	76	100	992
スポーツルーム 使用者数	995	719	1,260	1,291	677	903	1,086	997	889	560	823	1,001	11,201
スポーツルーム 利用件数	69	57	67	70	56	54	67	58	58	50	55	78	739

白山公民館

〒915-0824 越前市都辺町 36-84

電話 28-1045 FAX 29-2071

e-mail shirayama_ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/003/takefu.jsp>

テーマ

水と緑に恵まれ、自然豊かな里地、里山に囲まれたいきいきしらやま

方針

いつでも誰でも集える公民館として、住民・各種団体等と連携を図りながら、豊かな里地里山の自然環境を生かした、魅力と活力ある地域づくりを目指す。

重点目標

1. 地区住民のニーズや地域の課題に対応した生涯学習の推進を図る。
2. 自らの地域は自らつくると意識の醸成を図る。
3. 豊かな里地里山の自然を活かした地域づくりの「情報」の発信を行う。

主な協働事業

1. 人も生き物も元気が出る里地里山づくり事業

地域の人がいきいきと暮らす里地里山の保全再生を目指し、「環境学習会」、「生き物調査」、「地区外交流事業」等に取り組み、活力ある地域づくりを目指す。



人も生き物も元気が出る里地里山づくり事業
～ 夏をあそぼっ ～

2. 小中学校に太鼓演奏の伝承

地元の若者が、中学生に太鼓を教え、「鼓舞志」という名のグループを結成。地区の行事に参加し、青少年の育成と地区の活性化に尽力している。

3. 白山地区総合文化祭(敬老会も同時開催)

作品展示・芸能発表と、各種団体が日頃の活動を発表し、評価しあうことで個々の創作意欲の活性化につながり、それが、白山地区の発展につながっている。

4. しらやま夏祭り

盆踊り等昔ながらの伝統文化と、特産のスイカ試食販売、バザー・花くじ・花火など、子どもからお年寄りまで、地区住民のふれあいと世代間交流の場として定着している。

5. 合宿通学

実行委員会を組織し、地域での子育て支援・教育力の向上を目指す。

地域住民との交流を深め、親元を離れての宿泊をしながら学校へ通うことで、自立性・社会性を身につける。

公民館利用状況(平成22年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	2,447	1,270	1,525	752	1,478	1,074	1,799	1,437	1,102	521	971	1,515	15,891
公民館利用件数	55	63	74	56	69	83	112	72	80	58	79	114	915

花 筐 公 民 館

〒915-0071 越前市粟田部町 17-20

電話 42-0361 FAX 42-0361

e-mail kakyo-ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/014/kakyo.jp>

テ ー マ

公民館を拠点に、人づくりと地域づくりで築く「花と緑と歴史の町 花筐」

方 針

地区民一人ひとりが、明るく健康で心豊かに暮らす、夢と希望のもてる街

重点目標

1. 子供から高齢者まで、学習の場、憩いの場として楽しく集う公民館活動の推進
2. 地域の課題やニーズに対応した公民館学級講座の企画、各種団体、サークル活動の支援
3. 地域、学校、家庭、関係機関との連携を図り、青少年健全育成の推進
4. 自治振興会と連携しながら、地域課題解決につながる生涯学習、地域活動の推進

主な協働事業

1. 粟田部ABC事業

河川・公園・地区内周辺の清掃(クリーンキャンペーン)でごみ拾い・空き缶拾い・河川の草刈・花筐公園の清掃を行い、住みよいきれいなまちづくりを推進する。



2. 地域ふれあい交流事業

世代間のふれあい交流を目的に、各団体・組織が協力して地域ぐるみの行事として開催し、交流を深める。

- 地域ふれあい交流事業 -
竹箬作りと流しソーメン大会

3. 花筐っ子育成事業

ふるさとへの郷土愛を深め、自然と歴史、伝統文化を愛する心を育み、明るく元気な花筐っ子を育てるためのいろいろ活動を展開する。

4. はなはがたみまつり

世阿弥の謡曲『花筐』から命名された名勝「花筐公園」には約千本のソメイヨシノが春に満開の花を咲かせ、三里山山頂近くには継体天皇即位を記念して植えられた薄墨桜もあります。花見のシーズンには県内外から大勢の観光客が訪れる「花筐公園」を舞台にしてはながたみまつりを自治振興会、公民館、地域の各種団体が相互に連携しながら開催し、地域の活性化を図る。

公民館利用状況(平成22年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
利用者数	7,139	927	1,091	1,088	2,832	818	1,157	7,767	691	919	674	963	26,066
件数	135	74	95	77	81	86	89	191	66	58	66	86	1,104

岡 本 公 民 館

〒915-0231 越前市定友町 10-2-2

電話・FAX 42-1438

E-mail okamoto-ko@city.echizen-lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/050/150/index.html>

テ ー マ

みんなの知恵と力で伝えよう！！「 豊かな自然と伝統 」

方 針

公民館活動・自治振興活動を通じ、地域交流人口の一層の拡大をはかり、生涯学習と地域づくりの着実な推進を目指す。

重点目標

- 1 拠点施設の利用促進による地域交流人口の拡大
公民館事業やサークル活動等の参加者の嵩上げ・拡大、サークル活動の成果の随時発表の機会確保、またニーズに沿った拠点施設の運用による利用者利便の向上を目指す。
- 2 自治振興会活動との協働でサポートを行い公民館外での地域活性化
- 3 機関紙“ふるさとおかもと”の愛読者作りによる地域交流人口の拡大
自治振興会総務部や有識者との協働で、地域のみなさまに投稿を促し、サークル活動や地区の話題、また身の回りの話題等の記事を“たより”に多用しながら、多くの方の紙面参加と愛読者作りを図る。
- 4 拠点施設利用の空白年代をターゲットにした利用者の勧誘と利用促進策の提案
次代を担う児童・生徒や特に青年、また団塊の世代等を対象としたユニークな事業の創造・実施する。

主な協働事業

- 1 青山のぼり みんなで楽しく登ろうよ！（和紙の里公園ハイキング）
大杉広場にて“青山のぼり”のいわれ(歴史)を学習、自然の中みんなで楽しく過ごし、お楽しみ大抽選会・ゲーム等をして親睦を深める。
- 2 和紙の里夏まつり・月尾谷まつり
地域住民手づくり参加型夏まつりを、ステージショーバザーなど各種団体との協働にて多彩なイベント内容で開催し、地域活性化に寄与する。
- 3 世代間ふれあい交流事業
七夕まつり・カワソまつり・おもちパーティなどの伝統行事や三世代交流など、地域の人々が年代を越えて集い・ふれあうなどのコミュニティーを創造の輪を広げる。



青山のぼり
～和紙の里公園ハイキング～

公民館利用状況（平成 22 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
利用者数	1522	1779	1913	3230	1284	1538	1969	1649	1563	1405	1782	1520	21154
件 数	113	130	154	127	116	124	147	124	117	110	137	148	1547

南 中 山 公 民 館

〒915-0252 越前市西庄境 21-7-1

電話 43-1290 FAX 43-7160

e-mail minaminaka-ko@city.echizen.lg.jp

URL <http://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/016/minaminakayama.jsp>

テ ー マ

豊かな自然環境と伝統文化を生かした、魅力ある地域づくり、
地域住民の連携を大切にした、活力ある人づくり

方 針

「地区住民が安心して気軽に、集い・学べる場としての公民館」をめざし、地域づくり・生涯教育の拠点としての意識を持ちながら、住民主体のまちづくりの推進・地域の活性化に努める。

重点目標

1. 自治振興会・各種団体との連携を図りながら、地域課題・社会の変化に対応した生活課題の解決に向けた生涯学習の推進
2. 子どもにとって安全・安心な居場所づくり・学習を通じての生きがいづくり・人づくりの推進
3. 地域間の交流・地域自治振興事業の拠点の場として、住民に愛され、親しまれる公民館
4. 広報活動の充実

主な協働事業

1. ふるさとまつり南中山納涼祭

各種団体バザー、地区対抗歌合戦、盆踊り大会、花火大会などを行った。自治振興会と共催。

2. 南中山文化祭ふれあい健康まつり

公民館自主講座（こふじ）の発表、学級の紹介と展示、三世代交流として老人会の協力により餅つき大会、各種団体や自治振興会によるバザー、健康コーナーでは健康体操と虫歯のない子の表彰式が行われ、健康チェックなど行った。自治振興会と共催。

3. 南中山体育祭

南中山地区体育協会、自治振興会、各種団体と共催。

4. 年賀ハガキデザインコンクール

地区民、小学校に今年の手書きやパソコンによる年賀状を応募してもらい、各賞を選考した。自治振興会と共催。

5. 放課後子どもプラン事業（わかくさっ子）

三世代交流、エコ体験、サイエンス教室、料理教室、工作、伝承あそびなどを行った。児童館、自治振興会と共催。



- 写真：アートであそぼう -
(三世代交流・わかくさっ子)
(H22. 2.19 開催)

公民館・体育館利用状況（平成22年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	1915	1399	2401	3628	2082	3336	3347	1868	1466	1616	1661	1761	26480
公民館利用件数	107	90	143	129	119	116	110	105	89	108	126	114	1356
スポーツルーム 使用者数	337	332	433	325	288	262	248	323	272	239	236	203	3498
スポーツルーム 利用件数	21	19	29	23	18	20	21	22	16	21	18	24	252

服 間 公 民 館

〒915-0209 越前市藤木町 12 - 39 - 1

電話・FAX 43 - 0977

e-mail fukuma-ko@city.echizen.lg.jp

URL: <http://www.echizen.lg.jp/office/090/070/011/fukuma.jsp>

テ ー マ

わいわい がやがや みんなで創ろう 元気なふくま

方 針

人づくり・地域づくりのために誰もがいつでも、どこでも、学ぶことができ、その積み重ねが主体的に活かせる地域に根ざした特色ある事業を推進する。

重点目標

1. 憩いの場、仲間づくりの場、学びの場としていつでも、だれでも集える拠点づくり
2. 振興会や各種団体と連携し、地域の課題やニーズに対応した生涯学習の推進
3. 活力ある元気な地域づくりのための広報活動と情報の発信

主な協働事業

1. 服間わいわい塾

わいわい がやがや みんなが集い 元気な地域を創るための事業。

地域の豊かな自然や歴史、そこに暮らす人々とふれあいながら様々な視点で学びの輪を広げ、自分を見つめ、家族、地域、社会のつながりを深める総合講座。



ふくま高齢者学級 「墨流し体験」

2. 福祉講座事業

相互扶助による福祉社会の実現に向け、生涯にわたって学ぶことと健康づくりのための事業。高齢者化率の高い当地区で、高齢者のみの世帯や一人暮らしの高齢者が元気で長生きできる環境を目指す。

3. 青年学級事業（青年プロジェクト）

公民館に若者が集まることが少なくなった昨今。その中でも積極的に取り組み、参加したいと考える若者を（地区内外問わず）対象に「何かをしたい・何かに貢献したい・成長したい」という場や機会、すなわち若者の『居場所』をつくっていき、活力ある元気な地域づくりを目指す。

4. 地域子ども教室支援事業

ふるさとを愛する明るく活力ある担い手を育成するための地域全体で子どもを育む事業。少人数の子どもでも楽しく幸せに育つ環境を目指す。

5. 広報事業

活力ある地域づくりのため、毎月1回地区広報誌「広報ふくま」の発行と、ホームページ・ブログによる情報の発信と提供をする。

公民館利用状況（平成22年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
公民館利用者数	499	346	596	618	805	336	594	319	309	319	389	413	5,543
公民館利用件数	56	34	63	40	33	34	40	31	36	27	32	38	464
多目的ホール 使用者数	307	315	324	258	438	490	1,131	262	322	221	191	384	4,643
多目的ホール 利用件数	18	20	23	24	15	24	26	21	21	21	18	26	257

社 会 教 育 施 設

生涯学習センター、地区公民館を併せて 18 館の他、青年センターなどの施設も整備されている。

生涯学習課所管施設状況

(平成 23 年 6 月 1 日)

施設名	所在地	構造	建築年度	建物面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	職員	
						館長	主事
生涯学習センター	府中一丁目	地上 5 R C 地下 1	S47 年度	5,572		所長 1	指導員 1
生涯学習センター 今立分館 (岡本公民館)	定友町	RC2 階建	H10 年度	976	1,344	1	2
武生東公民館	府中一丁目	RC4 階建	S53 年度	1,672	798	1	2
武生西公民館	中央二丁目	RC2 階建	S49 年度	445	524	1	2
武生西公民館 別館	中央二丁目	〃	S63 取得	446	1,203	西公民館職員兼務	
武生南公民館	武生柳町	〃	S47 年度	681	912	1	2
神山公民館	広瀬町	〃	S48 年度	332	571	1	2
吉野公民館	本保町	〃	S52 年度	475	852	1	2
国高公民館	国高二丁目	〃	S60 年度	653	3,158	1	2
大虫公民館	丹生郷町	〃	S56 年度	448	1,637	1	2
坂口公民館	湯谷町	〃	S51 年度	357	1,390	1	1
王子保公民館	四郎丸町	〃	S50 年度	1,023	2,657	1	2
北日野公民館	矢放町	〃	S55 年度	462	1,761	1	2
北新庄公民館	北町	〃	S51 年度	451	1,576	1	2
味真野公民館	味真野町	〃	S54 年度	513	1,800	1	3
白山公民館	都辺町	〃	S50 年度	439	1,247	1	2
花筐公民館	粟田部町	〃	S52 年度	492	1,129	1	2

南中山公民館 (勤労青少年 ホーム)	西庄境町	"	S56年度	925	2,714	1	2
服間公民館 (農村環境改善 センター)	藤木町	RC1階建	S55年度	997	4,186	1	2
青年センター	高瀬二丁目	RC3階建	S42年度	808		生涯学習課職員兼務	
四郎丸会館	四郎丸町	鉄骨平屋建	S56年度	331.49	800.36		
粟田部コミュニテ ィセンター (うすずみ会館)	粟田部町	s c2階建	S61年度	346	596		

社会体育施設

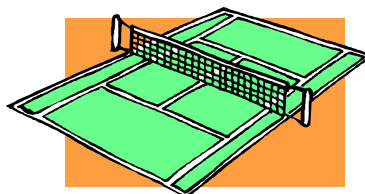
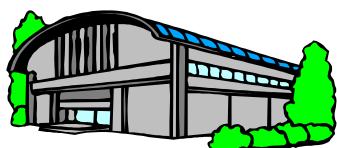
市民が健康で文化的な生活を営むためには、日常生活においてスポーツ活動を積極的に推進する必要がある。また、少子高齢化や高度情報化社会の進展などによる、生活習慣の変化にともなう健康意識の高まりの中、生涯スポーツに対する市民ニーズは年々増加、多様化している。

このような状況を踏まえ、スポーツ施設の整備充実と効果的な活用を図り、市民の健康や体力を保持増進していくための生涯スポーツの推進を目指している。

社会体育施設状況

施設名	所在地	敷地面積	競技場面積	観客収容人数	竣工年月日	施設の内容	施設管理者	備考
武生中央公園体育館	高瀬二丁目8-23	4,138 m ²	1,693 m ²	1,744人	昭43.3	バレー(3)体操、バスケット(2)バドミントン(10)	(社)越前市体育協会	延床面積4,172.7 m ²
武生中央公園弓道場	高瀬二丁目	600	444		昭46.6	弓道近的(6射)会議室	(財)越前市施設管理事業団	
武生中央公園野球場	"	21,200	16,882	内3,000 外8,000	昭41.3	野球(硬、軟式)	"	ナイター
武生中央公園多目的グラウンド	"	15,280	15,280	1,500	昭30.3	多目的	"	ナイター
武生中央公園水泳場	"	8,980	7,512	500	昭41.3 昭50.7	50m×9コース 25m×8コース、幼児、子供	"	
武生中央公園庭球場	"	13,360	7,020	1,200	昭42.5	テニスコート(8面) テニス・ソフトテニス	"	ナイター 全天候8面
武生中央公園少年野球場	"	3,700	3,700		昭45.4	ソフトボール(少年)	"	全天候
高瀬トレーニングセンター	高瀬一丁目12-9-7	871	352		昭53.2	トレーニングルーム(1)ウエイトリフティング(1)ボクシング練習場(1)	高瀬トレーニングセンター管理協会	
武道館	中央一丁目8-15	2,928	(柔道)664 (剣道)664	150 150	昭54.12	剣道(2) 柔道(2) 宿泊(41人)会議室(2)	(社)越前市体育協会	
武生体育センター	行松町25-10	876	807		昭52.	体操、バドミントン(1)	市スポーツ課	
帆山公園庭球場	帆山町11-13-1	1,600	1,600		昭52.3	テニスコート(2)	(財)越前市施設管理事業団	全天候2面
帆山公園相撲場	"	800	100	400	昭51.3	相撲	(財)越前市施設管理事業団	
武生東運動公園ソフトボール場	宮谷町35-10	27,700	23,000	4,000	昭53.3	ソフトボール(4) 公式試合(2)	"	ナイター 2面
武生東運動公園庭球場	"	4,620	4,000	1,000	昭57.3	テニスコート(6) クレーコート	"	全天候 3面
武生東運動公園陸上競技場	"	24,900	24,900	5,200	昭57.6	二種公認 1周400m 全天候 コース サッカー、ラグビー	"	
武生東運動公園マレットゴルフコース	"				平1.3	北コース 19ホール 南コース 18ホール	"	
王子保公民館スポーツルーム	四郎丸町65-2-1	2,657	360		昭50.6	バレーボール(1) バドミントン(2)	市生涯学習課	
国高公民館スポーツルーム	国高二丁目324-13	2,775	707		平2.3	バレーボール(1) バスケット(1) バドミントン(3)	"	
味真野公民館スポーツルーム	味真野町7-2-1	5,689	664		平2.5	バレーボール(1) バスケット(1) バドミントン(3)	"	
池ノ上森林スポーツ林道	池ノ上町	9,000	9,000	500	昭51.10	遊歩道・各種遊具	(財)越前市施設管理事業団	
日野川ゲートボール場	帆山町	5,000	3,500		昭54.10	ゲートボール(8)	市長寿福祉課	8面
日野川河川緑地マレットゴルフコース	"				平3.11	18ホール	(財)越前市施設管理事業団	
金華山グリーンランド	米口町58-25	76ha	林間歩道2,516 m ² 林間広場4,459 m ² キャンプ場2,873 m ²	1,000	昭54.6	キャンプ120人 バンガロー(10棟)40人 コテージ(4棟)20人	金華山林業振興組合	
式部ふれあい館軽運動場	国高一丁目13-11	1439	218		昭53.3	バレーボール(1) バドミントン(2)	越前市式部ふれあい館自治会	
池ノ上勤労者スポーツセンター	池ノ上町31-18-3	990	348		昭55.1	バレーボール(1) バドミントン(3)	池ノ上勤労者スポーツセンター管理協会	
みどりと自然の村太陽広場	安養寺町	15,000			昭56.10	レストハウス(ソーラーシステム)キャンプ場、野外ステージ(300人)、会議 緑の広場	(財)越前市施設管理事業団	
みどりと自然の村サン・スポーツランド	"	4,122	3,025		昭62.7	テニスコート4面(全天候) ゲートボール1面(人工芝)	"	ナイター

施設名	所在地	敷地面積	競技場面積	観客収容人数	竣工年月日	施設の内容	施設管理者	備考
北新庄体育館	北町 54-25	m ² 2,999	m ² 497	人	昭 57.3	バレーボール(1) バスケット(1) バドミントン(3)	市スポーツ課	
北日野体育館	矢放町 21-19-1	1,905	607		昭 59.3	バレーボール(1) バスケット(1) バドミントン(4)	"	
大虫体育館	丹生郷町 13-20-1	2,470	607		昭 59.3	バレーボール(1) バスケット(1)	"	
吉野児童センター	家久町 105-13	2,681	348		昭 55.3	バレーボール(1) バドミントン(1)	(福)越前市 社会福祉協議会	RC 2 階 建
武生南児童センター	武生柳町 11-28	1,677	378		昭 57.3	ソフトバレーボール(1) バドミントン(1)	"	S 平屋建
武生西児童センター	中央二丁目 4-10	1,112	368		昭 58.3	ソフトバレーボール(1) バドミントン(1)	"	S 平屋建
武生東児童センター	国府二丁目 16-8	858	364		昭 59.3	ソフトバレーボール(1) バドミントン(1)	"	RC 2 階 建
国高児童センター	国高二丁目 325-3	735	161		平 9.4	バレーボール(1) バドミントン(1)	"	RC 平屋建
王子保児童センター	四郎丸町 55-4-4	1,000	165		平 13.5	ソフトバレーボール(1) バドミントン(1)	"	一部S・木造 平屋建
味真野児童センター	池泉町 14-1	1,100	165		平 13.6	ソフトバレーボール(1) バドミントン(1)	"	一部S・木造 平屋建
家久スポーツ公園 庭球場	家久町	3,480	3,176		昭 60.3	テニスコート(4)	(財)越前市 施設管理事業団	全天候4面
家久スポーツ公園 自由広場	"	7,350	7,350		平 4.10	多目的グラウンド	"	クレ-舗装
家久スポーツ公園 ソフトボール場	北府一丁目	4,974	4,974		昭 60.3	多目的グラウンド (ソフトボール場)	"	ナイター
家久スポーツ公園 温水プール	家久町 105-4	5,300	1,387 (建築床面積)		昭 60.3	25m×6コース 幼児兼身障者 プール10m×6m	"	室内
白崎公園 屋内ゲートボール場	白崎町	1,100	600		平 5.4	ゲートボールコート(2) 15m×20m(1コート当り)	"	
白崎公園 マレットゴルフコース	"				平 11.12	18ホール	"	
村国公園自由広場	村国三丁目	4,410	4,410		平 8.3	多目的グラウンド・ゲートボール場1 面(ソフトボール場)	"	
しらやまいこい館 多目的ホール	都辺町 36-84	816.62	369		平 8.12	バレーボール(1) バドミントン(2)	しらやま振興会	
粟田部体育館	粟田部町中央1丁目 501	580	486		昭 49.7	バレーボール(1) バドミントン(3)	市スポーツ課	
今立中央公園 プール	野岡町 29-9-1	2,000	750		昭 51.7	50mプール 幼児プール	"	
今立中央公園 多目的広場	野岡町	5,155	5,155		昭 51.11	野球(1) ソフトボール(2)	"	ナイター
今立テニスコート	山室町 5-1	4,272	1,835		平 14.3	テニスコート(2)	"	
今立体育センター	岩本町 1-9	4,400	913		昭 58.6	バレーボール(1) バスケット(1) バドミントン(6)	(財)越前市 施設管理事業団	
今立南部公園 テニスコート	岩本町 1-12	3,100	3,100		昭 60.10	テニスコート(4)	"	ナイター
ウォーキング& ジョギングロード	新在家町~ 新堂町		3,987m 延長		平 8.5		市維持管理課	
八ツ杉森林 学習センター	別印町 19-1-1	205,400	6,000		昭 57.11	森の家(5部屋 30名) バンガロー(6棟 24名) キャンプ場(15サイト 60名)	(財)越前市 施設管理事業団	
今立ふれあいプラザ	粟田部町 9-1-9	4,800	792		昭 53.4		市スポーツ課	
今立ゲートボール場	野岡町 36-1	4,746	4,746		平 2.7	ゲートボール(8)	越前市ゲートボ ール協会	



主要な社会教育関係団体

(平成23年度)

団体名	目的	主な活動内容	代表者名	加盟団体 グループ名	団員数 会員数
越前市子ども会育成連絡協議会 (H17.10.1)	市内の子ども会活動を推進し、健康かつ文化的で情操豊かな子どもを育成する。	子ども会親子のつどい(7月) 子ども会球技大会(8月) 壁新聞コンクール(9月) ○子ども会卓球大会(1月) 子ども会かるた大会(2月) 子ども会各種大会指導者講習会 子ども会リーダー協議会研修会 (4月、5月、7月、12月、2月) 市子連だより発行(年2回)	会長 光川 正治	市内各単位 子ども会 162 団体	4,030 人 (子ども数)
青少年健全育成越前市民会議 (H18.5.2)	次代を担う青少年の健やかな成長を願い、市民総ぐるみでその成長を見守り育てる。	「青少年健全育成越前市民のつどい」の開催 子どもの見守り活動支援の推進 家族ふれあい事業の推進 青少年健全育成・子どもの安全対策に対する市民の意識啓発 青少年健全育成のための環境づくり 「家庭の日」「青少年育成の日」の推進 大人が変われば子どもも変わる運動 地域のおじさんおばさん運動	会長 大友 納	市内賛同団体	259 人 (推進員数)
越前市武生ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 (H18.4.1)	市内ボーイスカウトガールスカウト各団の友好協調を図り、次代を担う青少年の健全育成のため、スカウト運動の発展に寄与する。	指導者・リーダーの育成強化 団体訓練と心身の鍛錬及び奉仕活動精神の高揚 安養寺森づくりキャンプ村の維持管理 指導者・スカウトの安全管理 子どもの居場所事業 各ボランティア活動への参加協力	会長 田中 保士	ボーイスカウト 武生第5 団 ガールスカウト 福井県第5 団 福井県第10 団	203 人
越前市PTA連合会 (H18.5.13)	各単位PTA 相互の連絡協調を図り、PTA 活動の円滑な発展に寄与する。	専門委員会開催 単P 会長・副会長連絡会議の開催 球技大会の開催 広報誌の発行 「市長と語る会」の開催	会長 永宮 勲	24 校 単位PTA	約8,043 人
越前市連合女性会 (H18.4.1)	男女共同参画社会の実現と各地区女性活動の目的を尊重し、助長するとともに、地域発展に寄与する。	委員研修 女性のつどい 文化・体育活動・講演・研修 広報活動(機関紙発行)	会長 安立 里美	市内10 地区 (8ヶ所)	約1,256 人

越前市壮年 グループ連 絡協議会 (H18.4.9)	地区壮連協グループ の目的を尊重し、諸活 動を助長するととも に、地域発展に寄与す る。	越前市サマーフェスティバルへの参加 研修会の開催 市長と語る会の開催 若者出合い交流応援事業の開催	会長 題佛 臣一	2単位 グループ 7地区壮連協 南中山、五箇、 味真野、国高、 南、西(中央)、 吉野、大虫、 味真野、白山、	約2,500人
越前市補導 委員会 (H18.5.22)	青少年の健全育成を 図るとともに、会員相 互の融和・協調を図 り、補導業務の発展に 寄与する。	街頭補導、夜間補導 地区別補導 春・夏・冬休み及び祭礼等の特別補導 非行防止啓発活動 環境浄化運動 研修会、補導委員役員会の開催	会長 加藤 一守	小・中・高教職員 民生児童委員 警察協助力員 市防犯隊員 保護司 更生保護女性会 小・中・高PTA 青少年育成推 進員、一般等	110人
越前市婦人 ボランティア 連絡会 (H17.10.1)	地域社会へのボラン ティア活動に寄与す る。	全体研修 6つのグループ (紙芝居・レクレーション・民話・料 理・指人形・ぬいぐるみ)による実践 活動 各教育機関・各種団体諸施設等からの 要請による個々グループの奉仕活動	代長 三田村 律子	市内全地区	38人